

女性の政治参加 障壁などを議論

青森でワークショップ

女性議員「ゼロ」の市町村議会が約半数を占める県内で、女性の政治参加を



女性の政治参加に向けた課題や解決法を話し合うワークショップの参加者ら。青森市新町

指すワークショップが26日、青森市内で開かれた。女性政治家のなり手を育てようと活動する一般社団法人「パリティ・アカデミー」の西川有理子事務局長が講演。45人の参加者が女性の議会進出がなぜ必要か、何が障壁なのかなどを議論した。

「どうかわる？政治分野の男女比50対50になったら」と題して、男女共同参画を目指す市民団体「ネットワークA・L」が主催。

講演で西川さんは、先進国でジェンダー・ギャップ（男女格差）指数が最下位の国内の現状をあげ「あらゆる立場の多様な意見を反映するために女性議員が必要」として「世界に学べば追いつける。政治家、有権者のやる気が問われている」と訴えた。

グループワークでは、「家族の理解が得られない」「男性をサポートするよう女性は育てられている」などの課題の解決法について議論。西川さんは「意識は変えられる。青森を良くするとの気持ちで一緒に乗り越えましょう」と呼びかけた。

（林義則）